

モデムおよびネットワーク接続ガイド
hpノートブック シリーズ

製品番号：316748-292

2003年2月

このガイドでは、ノートブック コンピュータのモデム ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続方法について説明します。また、日本国外でのモデムの使用方法についても説明します。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

モデムおよびネットワーク接続ガイド
初版 2003年2月
製品番号：316748-292

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 内蔵モデムの使用

2 ネットワークへの接続

1

内蔵モデムの使用

モデム内蔵モデルのノートブック コンピュータにはRJ-11電話コネクタが内蔵されており、モデム ドライバがあらかじめインストールされています。また、モデム ケーブルが付属しています。

モデム ケーブルの接続

RJ-11ケーブルの使用

モデム ケーブルには、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが付いています。モデム ケーブルは、アナログ電話回線に接続する必要があります。



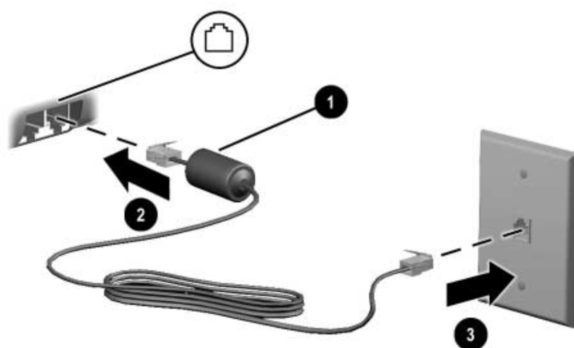
注意：デジタル構内回線（PBX）システムのモジュラ コンセントはアナログ電話回線用のモジュラ コンセントと似ていますが、このモデムでは使用できません。

1. モデム　ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア❶が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をノートブック コンピュータ側に向けます。
2. モデム ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-11電話コネクタに差し込みます❷。



警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、RJ-45ネットワークコネクタに電話線やモデム ケーブルを接続しないでください。

3. モデム ケーブルをRJ-11電話用モジュラ コンセントに差し込みます❸。



RJ-11モジュラ コンセントを使ったモデムの接続



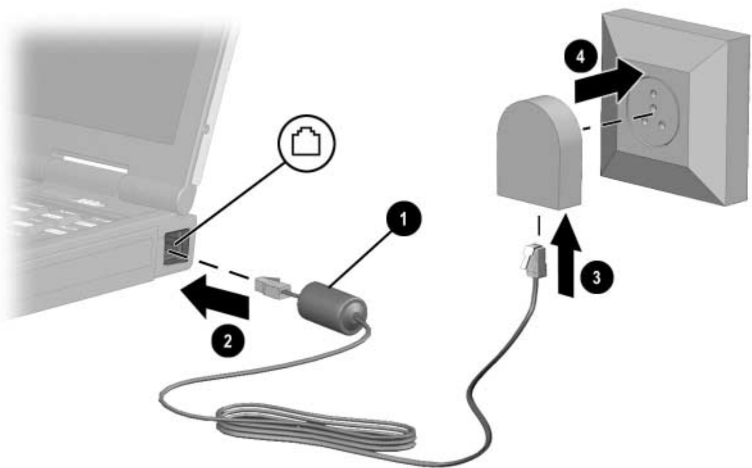
警告：感電する恐れがありますので、内部装置の取り付けや取り外しなどの作業を行う場合は、必ず、事前に電源コードおよびモデム ケーブルをノートブック コンピュータから取り外してください。

各国仕様のモデム アダプタの使用

内蔵モデム用のソフトウェアはさまざまな国での使用に対応していますが、モジュラ コンセントは国により異なります。モデムおよびRJ-11ケーブルを日本国外で使用する場合は、必要に応じて各国仕様のモデムアダプタを用意し、さらに**[ダイヤル情報]**で現在地を指定する必要があります。

RJ-11電話コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。

1. モデム ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア❶が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をコンピュータ側に向けます。
2. モデム ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-11電話コネクタに差し込みます❷。
3. モデム ケーブルを各国仕様のモデム アダプタに差し込みます❸。
4. 各国仕様のモデム アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します❹。



各国仕様のモデム アダプタを使用したモデムの接続

使用国設定の確認

現在の国の設定を確認するには、以下の手順で操作します。



注意：日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

Windows® 2000 Professionalをお使いの場合：

1. **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[電話とモデムのオプション]**アイコンを選択します。
3. **[ダイヤル情報]**タブで**[編集]**ボタンをクリックし、**[国/地域]**のドロップダウン リストに表示されている国を確認します。

Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合：

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**の順に選択します。
2. **[電話とモデムのオプション]**アイコンを選択します。
3. **[所在地]**を選択し、**[編集]**ボタンをクリックします。
4. **[所在地の編集]**タブの**[国名/地域名]**で、現在の国を確認します。
5. **[市外局番/エリア コード]**に適切な市外局番が表示されていることを確認します。

旅行先の所在地の新規追加

日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の規格に準拠するように設定されています。国外でこのモデムを使用する場合は、その国の規格に適合するように所在地の構成を追加する必要があります。



注意：モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。

以下に説明するドロップダウン リストには、このモデムでサポートされない国が含まれている場合があります。サポートされない国を選択すると警告が表示され、[米国]または[英国]が選択されます。



注意：お使いの地域とは異なる国を選択すると、その地域の通信規定や法律に違反した構成になる恐れがあります。また、国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

国外での所在地を新規に追加するには、以下の手順で操作します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [電話とモデムのオプション]アイコンを選択し、[新規]を選択します。
3. [所在地]に、追加する所在地を入力します（「自宅」、「会社」など）。
4. [国/地域]ドロップダウン リストから、現在地を選択します。
5. [OK]→[OK]の順に選択します。

Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]アイコンを選択します。
3. 画面の左に表示されている[電話とモデムのオプション]メニュー→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。
4. [新規]ボタンを選択して、[所在地]に追加する所在地を入力します（「自宅」、「会社」など）。
5. [国/地域]ドロップダウン リストから、現在地を選択します。
6. [市外局番/エリア コード]に現在地の市外局番を入力します。
7. [OK]→[OK]の順に選択します。

国外での接続に関する問題の解決

日本国外でモデムを使用するときに問題が生じた場合は、次の項目を参考にしてください。

■ 電話回線の種類の確認

モデムは、デジタル回線ではなくアナログ回線を使用します。通常、PBX回線はデジタル回線です。データ回線、ファックス装置の回線、モデム回線、または標準の電話回線は、通常はアナログ回線です。

■ パルスとトーンのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認

電話をダイヤルしてみて、クリック音（パルス音：トゥルルという音）とトーン（ピッ、ポッ、パッという音）のどちらの音がするかを聞きます。その後、通信ソフトウェアでパルスかトーンのダイヤル方法を選択します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [電話とモデムのオプション]アイコンを選択します。
3. 現在地を選択し、[編集]→[トーン]または[パルス]の順に選択します。
4. [OK]→[OK]の順に選択します。

Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]アイコンを選択し、画面の左に表示されている[電話とモデムのオプション]メニューを選択します。
3. [ダイヤル情報]タブを選択します。
4. 現在地を選択します。
5. [編集]→[トーン]または[パルス]の順に選択します。
6. [OK]→[OK]の順に選択します。

■ ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

電話で送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

■ ダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定する

認識できないダイヤル トーンを受信すると、モデムはダイヤルせずに、[No Dial Tone]エラー メッセージを表示します。次の手順で、ダイヤル前のダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [電話とモデムのオプション]アイコンを選択し、[モデム]タブを選択します。
3. お使いのモデムを選択します。
4. [プロパティ]→[全般]タブの順に選択します。
5. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスをオフにします。
6. このチェックボックスをオフにした後も引き続き[No Dial Tone]エラー メッセージが表示される場合は、次の操作を行います。
   a. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]アイコンの順に選択します。
   b. [ダイヤル情報]タブを選択します。
   c. ダイヤル発信する場所を[所在地]リストから選択します。

d. [編集]ボタンを選択します。

e. [国/地域]ドロップダウン リストから現在地を選択します。

f. [適用]→[OK]の順に選択します。

g. [モデム]タブを選択します。

h. お使いのモデムを選択します。

i. [プロパティ]→[全般]タブの順に選択します。

j. [発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスをオフにします。

Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. 画面の左に表示されている[電話とモデムのオプション]メニュー→[モデム]タブの順に選択します。
3. お使いのモデムを選択し、[プロパティ]→[モデム]タブの順に選択します。
4. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスをオフにします。
5. このチェックボックスをオフにした後も引き続き[No Dial Tone]エラー メッセージが表示される場合は、次の操作を行います。

   a. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]アイコンの順に選択します。

   b. 画面の左に表示されている[電話とモデムのオプション]メニューを選択します。

   c. [ダイヤル情報]タブを選択します。

   d. お使いの地域を選択して、[編集]を選択します。

   e. [国/地域]ドロップダウン リストから現在地を選択します。

   f. [適用]→[OK]の順に選択します。

   g. [モデム]タブを選択します。

   h. [モデム]タブ→[プロパティ]の順に選択します。

   i. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスをオフにします。

プリインストールされている通信ソフトウェアの利用

ターミナル エミュレーションおよびデータ転送用に、プリインストールされているモデム ソフトウェアを使用するには、以下の手順で操作します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順に選択します。
2. 適切なターミナル エミュレーション プログラムを選択するか、インターネット接続ウィザードの指示に従います。

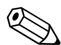
Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順に選択します。
2. 適切なターミナル エミュレーション プログラムを選択するか、インターネット接続ウィザードの指示に従います。

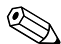
2

ネットワークへの接続

お使いのノートブック コンピュータには、RJ-45ネットワーク コネクタ、内蔵NIC（ネットワーク インタフェース カード）、プリインストールされたネットワーク ドライバ、および（一部のコンピュータには）ネットワーク ケーブルが付属しています。



ネットワーク構築はドメインへの接続を必要とするため、Windows XP Home Editionでは、ネットワーク構築はサポートされていません。

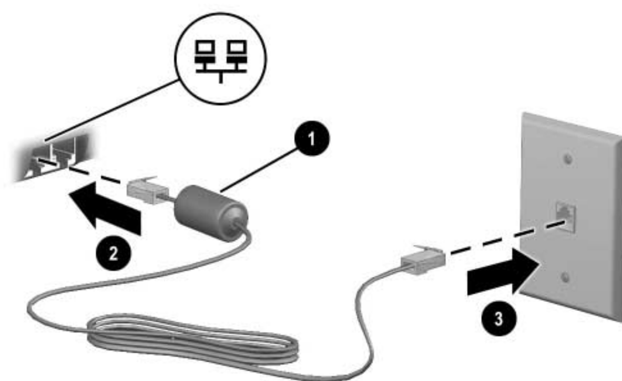


お使いのノートブック コンピュータがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定値を変更する前に、ネットワークの管理担当者にご相談ください。

ネットワーク ケーブルの接続

ネットワーク ケーブルには両端に8ピンのRJ-45ネットワーク コネクタが付いており、TVやラジオの電波障害を防止するためのノイズ抑制コアが付いている場合もあります。

1. コア❶が付いているほうのネットワーク ケーブルの端をノートブック コンピュータ本体のRJ-45ネットワーク コネクタ側へ向けます。
2. ネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-45ネットワーク コネクタに差し込みます❷。
3. ケーブルのもう一方の端をRJ-45ネットワーク コネクタに差し込みます❸。
4. ノートブック コンピュータを起動または再起動します。



ネットワーク ケーブルの接続